

2013年南アフリカ産マカデミア市況



オーストラリアより一足早く、南アフリカにて2013年産マカデミアナッツの収穫がスタートしました。2013年南アフリカ産マカデミアの収穫量については、昨年未までは主要産地の気候がほぼ良好であり、木の生育も順調であったことから、殻付ベースで約3万3千~3万4千メトリックトンと昨年の収穫量3万2千メトリックトンに比べると微増、もしくは同程度の数量となると言われていました。しかしながら、今年に入り、南アフリカ北東部に位置するマカデミア主産地であるNelspruitで雹(ヒョウ)の被害が報告されており、当地区の25%程度の木に被害が及んでいるとの情報が入っています。このため、今期の予想収穫量に対して悲観的な見方も出てきており、最大でも3万メトリックトン程度にしかならないとの意見も出てきています。

南アフリカにある多くのマカデミア農園はオーストラリアの一般的な農園と比べて比較的若木が多いため、今後5年間で収穫量が飛躍的に伸びるとも言われています。また、世界一の生産量を誇るオーストラリア産はここ数年、不作が続いているため、中国のバイヤーは南アフリカ産殻付マカデミアを今年も活発に買付を行なっている状況です。このため南アフリカ産の需要は昨年に引き続き強含み、現地相場は高値で推移すると予想されます。

2013年産の価格についてもこうした状況が続く限り、昨年と同様の価格帯で推移すると予想されます。

尚、2013年南アフリカ産マカデミアの予想収穫量に関しては、2月末頃にSAMAC(南アフリカマカデミア協会)より正式に発表される予定です。

また、主要産地のオーストラリアについては、早魃・台風等といった天候不良の情報が入ってきていますが、詳細につきましては次月号にてお知らせいたします。

南アフリカ産マカデミア殻付収穫量&剥実価格推移

